



「好き!」を原動力に行動していたらまちのためになっていた——。生活の100パーセントをささげられるわけじゃない。ライフステージも、どんどん変化していく。それでも好きだから続けたいと奮闘する若者にお話を聞きました。

こどもが好き!
市内最年少
民生委員・児童委員
菊池陸人

—— 対談テーマは「好き!がまちのチカラになる。」ですが、おふたりの「好き!」についてお聞かせください。



菊池さん

こどもが好き!

菊池 そうですね。これといったきっかけはないんですが、3人兄弟の長男で、親戚も年下が多い環境で育ったので、小さい子のお世話に慣れていました。友達の弟や妹と遊ぶのも得意でした。

実は、最初に興味を持ったのは「児童委員」という言葉。

社会人になって、営業車の中などで聞いていたラジオの中で『あなたのまちの民生委員・児童委員』というようなコマーシャルを聞いたんです。「児童委員」ってなんだろう?とすごく興味がわきました。

結婚してこどもが産まれてからも、地域のこどもたちにも何かアクション出来ないかな、と考えていました。ある日妻が無人販売所に民生委員・児童委員募集のチラシを見つけてくれて、それで連絡してみました。

—— 行動力がすごいですね。

菊池 「本当にやるの?」と何度も確認されました。なんでって思っていたんですが、周りの委員さんはほとんどが50代後半以上で、推薦された方ばかり。立候補で、しかも30代の僕が来たので驚かされていたんだと分かりました。

ギャップを感じたり、もどかしく思う気持ちもあるけど、周りの先輩が助けてくれて、話を聞いてくれる環境ですね。

地区の最年長の委員さんと一緒に活動していて、少しずつ子育て世代に向けた活動も企画しているところ。僕の提案も「やってみよう!」と言ってきて、本当に周りに恵まれているなと感じます。

育ててもらった草加で自分にできることを。草加で育つこどもがもっと増えて欲しい

—— 澤邊さんの「好き!」は?

草加が好き!



澤邊さん

澤邊 僕は草加に育ててもらったと感じていて、近所の人が見守ってくれたり、寺子屋で勉強を教えてもらったり、家族以外の大人にも育ててもらって今があるなど。

草加で育つこどもが増えて欲しいな、という思いで子ども会の活動を頑張っています。

—— すてきな考え方ですね。

澤邊 市が主催のまちづくりについて考える円卓会議にも参加しています。参加している地区では自分が最年少で、僕の上は40代くらいの方になる。もっと若い人に参加してもらいたいです。

本当に草加市が好きで!自分にできることをやっているという感じです。

—— 草加ラブですね!地元をそこまで強く愛せるって素晴らしいですね。

菊池 僕は草加市出身ではないんですが、ここまですごい地元愛を抱いたことはないかも。

民生委員・児童委員はまちのパトロール隊。ご近所の中の困りごとを支援につなげています

—— おふたりの活動について教えてください。

菊池 僕は民生委員になって3年目で、谷塚西部地区の生活援護部に属して活動しています。メインの活動はまちのパトロールかな。市の職員だと拾いきれない「あの家のおばあちゃん、最近あんまり外に出てこないみたい」とか、「赤ちゃんの泣き声がずっと続いていて心配」とか、困りごとの声を聞いて、必要なところにつなげるのが役割です。

あとは、多世代交流の食事会「ふれあい会食(※)」に参加する人に声をかけたり。今は高年者の方向けの活動が多いですね。

※ふれあい会食…地域住民が主体の地区社協(市内に10か所)が主催する主に一人暮らしの高年者を対象とした会食。地区社協は町会・自治会や民生委員・児童委員や地域のボランティアの皆さんによって運営。

まちで活躍している大先輩①

丹下和子(たんげかずこ)さん
草加市民生委員・児童委員協議会 会長



民生委員・児童委員は、身近な地域での活動です。「つながりづくり」「支え合い」を大切にしています。まちを見守り、時にはお宅を訪問して地域のことを知っていく。思いやりがあふれる地域づくりの素地となります。若い皆さんに民生委員になっていただけたらと思っています。先輩委員の皆さんがサポートしてくれますので、福祉に興味のある方、ぜひ一緒にいかがですか。

まちで活躍している大先輩②

本多恵子(ほんだけいこ)さん
草加市子ども会育成者連絡協議会 会長



草加市子ども会育成者連絡協議会は、こどもたちの笑顔と成長を支える楽しい活動が充実しています。キャンプやお祭り運営などイベントを企画・運営し、自分のアイデアを形にできます。仲間と一緒に学び、リーダーシップや企画力も磨ける絶好のチャンス!こども好き、イベント好きなら大歓迎。楽しく地域貢献しながら、自分も成長してみませんか?